

伊保川土木 I B G

2024年度環境経営レポート

(対象期間：2024年1月～2024年12月)



®環境省

エコアクション21
認証番号0006695

発行日：2025年4月25日
改定日：2025年5月31日

伊保川土木

□ごあいさつ

伊保川土木は、昭和49年(1979年)4月に創業し、今日まで地域に根ざした経営活動を行ってまいりました。昨今は、創業時と比べ環境変化が激しさを増していく中、建設業を営むものとしての責任・その重要性を改めて感じております。身近なところ、出来る所から環境経営を開始しようと、近くを流れる揖保川がいつまでも鮎の泳ぐ美しい川であることを願って、環境経営マネジメントシステムを導入し、環境問題に取り組んで参りました。今後も持続的発展の観点から、継続的に環境経営に取り組んでまいります。

□環境経営方針

<環境経営理念>

当社は未来のより良い地球環境へ貢献する為に持続可能な環境経営システムの構築をめざし、一人一人が目的意識を持ち行動することにより、自主的・積極的に環境への取組を推進していきます。活動内容は、環境経営における課題やチャンスを見直すことで明確にし、効率よく、無駄なく、タイムリーに従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規や当社が約束をしたことを遵守します。
2. 以下の項目について、環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
 - 1) 二酸化炭素排出量(電力・軽油・灯油)の削減
 - 2) 廃棄物(一般廃棄物・産業廃棄物)排出量の削減・適正管理
 - 3) 建設リサイクル率の維持向上(適正管理)
 - 4) 水使用量の削減
 - 5) 地域貢献活動の推進
 - 6) 環境に配慮した施工の実施
3. この環境経営方針は全従業員に周知させると同時に広く社会一般へ公表します

制定日：2010年4月1日

改定日：2024年1月13日

代表者 金子 亮郎

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

伊保川土木
代表者 金子 壹郎

(2) 所在地

本社 〒671-1643
兵庫県たつの市揖保川町神戸北山92-13

倉庫兼資材置場 〒671-1621
兵庫県たつの市揖保川町正條973-1

養久資材置場 〒671-1603
兵庫県たつの市揖保川町養久76-4

野田資材置場 〒671-1602
兵庫県たつの市揖保川町野田閑子田158-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 金子 三雄 TEL:0791-72-3206
担当者 濱本 弘子 TEL:0791-72-3206 Email: ibogawa@deluxe.ocn.ne.jp

(4) 事業内容

建設業(土木工事一式)

(5) 事業の規模

事業実績 2024年度 売上高 200百万円

	本社	倉庫兼資材置場	養久資材置場	野田資材置場	合計
従業員	9名	-	-	-	9名
床面積	66㎡	150㎡	487㎡	812㎡	1,515㎡
敷地面積	600㎡	150㎡	487㎡	812㎡	2,049㎡

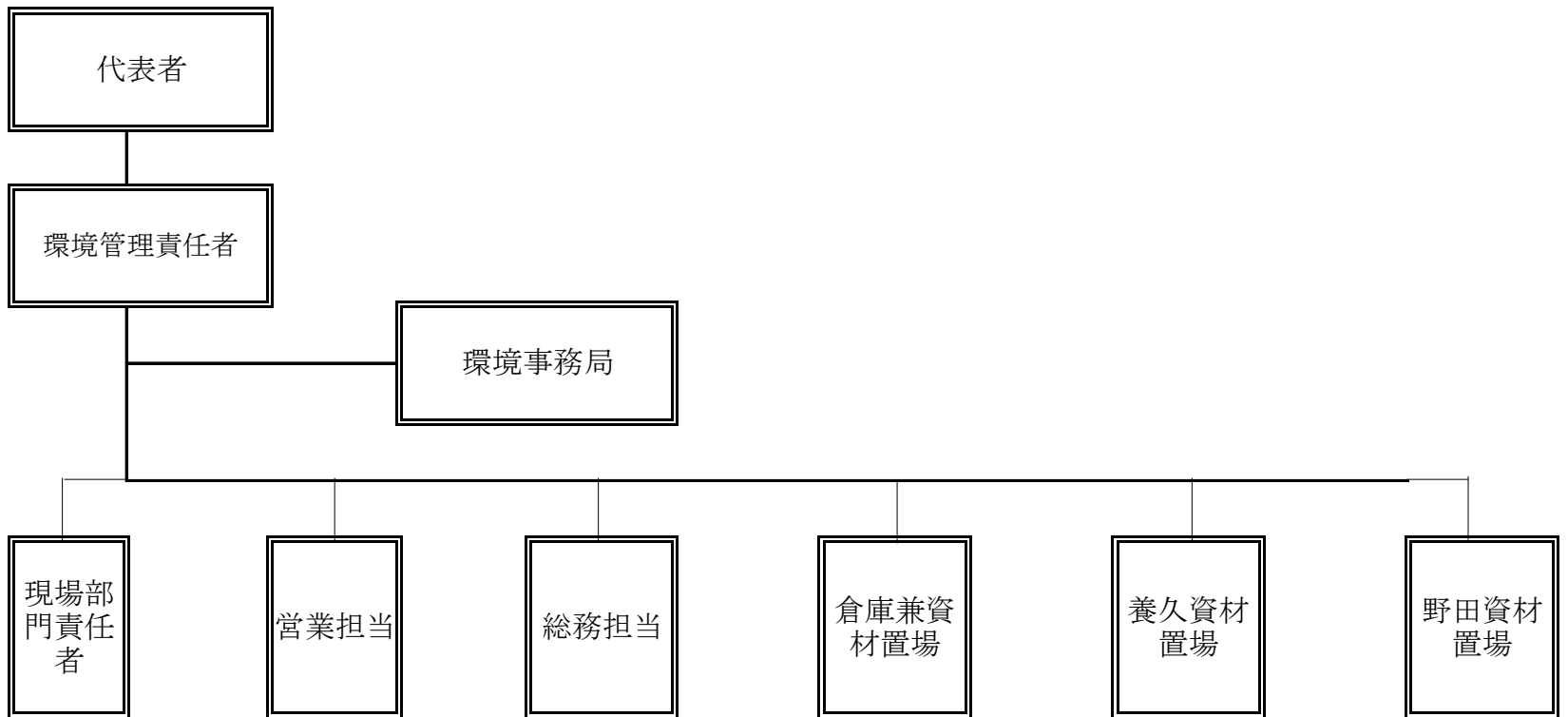
(6) 事業年度 1月～12月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 伊保川土木
対象事業所 : 本社、倉庫兼資材置場、養久資材置場、野田資材置場
活動 : 建設業(土木工事一式)

□環境経営実施体制

実施体制図



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用の準備 ・従業員に対する教育訓練の実施 ・代表者による全体の評価・見直しの実施 ・代表者による経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営目標、環境経営計画書、環境経営レポートの確認・承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営活動実施体制の構築・実施・管理 ・環境経営目標、環境経営計画書の確認・承認 ・環境経営計画の実施 ・問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・環境関連法規等の取りまとめ表及び、事故及び緊急事態の対応策・手順書の承認 ・環境経営レポートの確認 ・従業員への環境活動の周知
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標及び環境経営計画書原案作成 ・環境経営活動の実績集計及び達成状況の報告 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成・遵守評価の実施 ・環境負荷の自己チェック・取り組みの自己チェックの実施 ・緊急事態への対応手順書(火災)の作成 ・環境経営レポートの作成、公開
現場部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の環境経営管理 ・従業員の環境経営教育 ・緊急事態への対応手順書(工事関係)の作成・対応訓練の実施・記録の作成 ・周辺住民からの苦情・要望等の受付・記録・対応及び環境管理責任者への報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・目標達成に向け、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	基準年度 2019年	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	16,365	16,364.5	9,584.1	7,944.8	7,048.3	9,954.7	6,103.4
電力	kwh	3,839	3,839	3,830	3,423	3,801	3,885	3,697
軽油	L	5,091	5,091	2,680	2,213	1,765	3,098	1,480
灯油	L	446	446	314	220	468	242	398
一般廃棄物	kg	114.4 (2020年度実績)	88.3	114.4	102.9	100.7	98.7	22
産業廃棄物	kg	29,030	29,030	229,480	460,985	438,500	159,280	1,690
建設リサイクル率の維持向上	%	実績不明	実績不明	実績不明	実績不明	100	100	100
水使用量	m ³	24.0	24.0	30.0	24.0	23.0	21.0	20

注) 化学物質は使用していない。

□環境経営目標及びその実績

項目	単位	基準年度 2019年度	2024年度			2025年度	2026年度	2027年度
		基準	目標 対基準	実績	達成率	目標 対基準	目標 対基準	目標 対基準
I 二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	15,589	15,500 -1%	6,103.4	254.0%	15,433 -1%	15,417 -1.1%	15,402 -1.2%
1)電力の削減	kWh	3,839	3,801 -1%	3,697	102.8%	3,801 -1%	3,797 -1.1%	3,793 -1.2%
2)軽油の削減	L	5,091	5,040 -1%	1,480	340.5%	5,040 -1%	5,035 -1.1%	5,030 -1.2%
3)灯油の削減	L	446	442 -1%	398	110.9%	441.5 -1%	441.1 -1.1%	440.6 -1.2%
II 廃棄物排出量の削減・適正管理								
1)一般廃棄物の削減	kg	114.4 (2020年度実績)	113.3 -1%	21.9	516.7%	113.3 -1.0%	113.1 -1.1%	113.0 -1.2%
2)産業廃棄物の適正管理	kg	29,030	28,740 -1%	1,690	-	適正管理	適正管理	適正管理
3)建設リサイクル率の維持向上	%	100 (2022年度実績)	100 維持	100		100 維持	100 維持	100 維持
III 水使用量の削減	m ³	24.0	23.8 -1%	20.0	118.8%	23.76 -1.0%	23.74 -1.1%	23.71 -1.2%
V 地域貢献活動の推進	回	2	2	2	100%	2	2	2
VI 土木工事における環境配慮 環境に配慮した施工の実施			<ul style="list-style-type: none"> ・重機の低騒音 ・排ガス対策型の使用 ・近隣における粉塵対策(散水養生) ・再生砕石等の購入実績 	全件実施済み	100.0%	環境に配慮した 施工を実施	環境に配慮した 施工を実施	環境に配慮した 施工を実施

注1) 電力の二酸化炭素への排出係数[0.350kg-CO₂/kWh]は、関西電力(株)2018年度実績の調整後係数

注2) 土木工事における環境配慮の達成率は全工事での環境に配慮した施工の実施率とする。

※ 建設リサイクル率の算定式 再資源化量÷排出総量*100

※ 目標に対する達成率の算定式 達成率=目標値/実績値*100

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ほぼできた △あまりできなかった ×全くできなかった

	取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量の削減	達成	・以下による
	電力の削減	達成	
	・冷房温度28℃設定とクールビズ運動	△	・従業員の節電に対する意識付けの浸透。
	・省エネタイプのエアコンへの切り替え	○	・省エネタイプのエアコンへの切り替えなどにより、電力量の削減は順調に推移している。
	・昼休みの消灯	○	
	・不要照明の消灯	○	・お昼休み等消灯する
	・OA機器の省エネモード設定	○	・各個PCに電源OFFシールを貼付し、こまめな電源管理の促進
	・エアコン清掃	○	
	・夏期の遮熱	○	・夏期、日除けの為すだれ等を使用。
	軽油の削減	達成	
	・アイドリングストップ	◎	・現場の遠近等状況により燃料の使用量に増減があり、使用量のみでの管理では実際の削減活動が数字に反映されにくい が、推移グラフ化での見える化を行い、従業員への意識づけの徹底
	・急加速の抑制	◎	
	灯油の削減	達成	
	・ECOモード設定	◎	・冬場はどうしても暖房を付ける事が多くなり灯油の消費量が増える。 ・不要な時は切るなどしてこまめな温度設定の管理を徹底する。
・温度管理	◎		
廃棄物排出量の削減・適正管理	廃棄物排出量の削減・適正管理	達成	
	1)一般廃棄物の削減 (可燃ごみ・ペットボトル・アルミ缶・古紙・段ボール)	○	・分別を徹底し削減に努める
	2)産業廃棄物の適正管理	○	・現場の工事内容、手持ち工事の数により排出量が多い。 ・監督官庁の指導に従い、適正に対処している。分別の徹底により最終処分行きを減らす。
	・最終処分場行きを減らす	×	
・分別の徹底	△		
3)建設リサイクル率の向上	◎	・分別によるリサイクル率の促進 ・資材の計画的な使用 ・資材の再利用の促進	
節水	水使用量の削減	達成	
	・手洗い水量の適正化	◎	・従業員の節水意識を高め使用量の削減に努める
	・清掃時の水量の適正化	◎	
地域貢献	地域貢献活動の推進	達成	
	・兵庫アドプトへ参加	◎	・今年度も社会貢献に積極的に取り組めた。今後も継続して積極的に取り組みたい。
土木工事における環境配慮	環境に配慮した施工の実施	達成	
	・重機の低騒音	◎	・工事から起こる環境への負荷を軽減しつつ、併せて質の高い環境造りに努める。 ・公共事業において環境に配慮して施工をするにあたり、対策工法の検討など、環境配慮を行う為専門的知識を持った工事担当者の助言、意見等を受け、適切な施工をするように努める。
	・排ガス対策型の使用	◎	
	・近隣における粉塵対策(散水養生)	◎	
	・再生砕石等の購入実績	◎	
	・粉塵防止の為の散水	◎	

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(アスファルト塊・コンクリート塊)、運搬・処分業者との委託契約書の締結、マニフェストの交付・管理・保管	遵守
騒音規制法	低騒音型建設機械使用・特定建設作業の届出・騒音振動基準の遵守	遵守
振動規制法	低振動型建設機械使用・特定建設作業の届出	遵守
道路交通法	道路工事における道路使用許可申請	遵守
資源有効利用促進法	アスファルト塊・コンクリート塊等の利用促進(努力義務)	遵守
建設リサイクル法	再生資源利用促進計画書(実施書)の提出	遵守
消防法	消火器設置・点検	遵守
市条例	たつの市住みよい環境を守る条例(第30条、第31条) ・工事に伴う土砂・廃材・資材等が道路その他の公共の場所に飛散 ・脱落・流出しないように管理する	遵守
家電リサイクル法	特定家電製品(冷蔵庫・洗濯機・エアコン・テレビ)の破棄時の適正な処分	実績無し
大気汚染防止法	石綿使用の有無の事前調査、調査結果の報告 発注者への説明と現場掲示、下請負人への説明、記録の保存 特定粉じん排出等作業の実施届出	遵守

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反などの指摘は、過去3年間ありません。

□代表者による全体の評価と見直し、指示

監督官庁から環境に配慮した工事・施工の要請を受け、環境の認証登録を目標に、エコアクション21に準拠したマネジメントシステムを構築すべく2010年4月より活動を開始した。行政の要請にこたえ廃棄物の循環資源化、必要に応じグリーン購入物品採用を行い、現場では化石燃料による低減に取り組んでいます。現在は絶対値管理をしている。さらにエネルギー削減を目的としたグラフ管理、廃棄物の処理を委託している業者の実施確認を行っている。今後も、より一層環境に配慮したマネジメントシステムの構築をめざし環境を配慮した会社活動を続けていきたい。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	-
環境経営目標	否	-
環境経営計画	否	-
実施体制	否	-
その他	否	-

実施日：2025年4月25日

代表者 金子孝郎